

競 技 注 意 事 項

1. 本大会は、2024年度日本陸連競技規則並びに本大会の競技注意事項により行う。
2. 選手の受付は、各種目の記載された招集時刻に各自受付をし、その場から離れずに係の指示に従うこと。受付は、ゴール前方の倉庫内で行います。
※受付終了時刻は、競技開始時刻のトラック競技は15分前、フィールド競技は20分前です。
※受付の時、トラック競技の出場者は、腰ナンバーカードを受け取り、右腰に付けること。
3. 点呼用紙に○印の無い者、受付終了時刻に遅れた者は、原則として棄権とみなす。（棄権の場合も申し出る事）
4. 同時刻に2種目の競技をする者は、点呼用紙にそれぞれ氏名の後ろに出場種目を記載すること。出場種目はトラック種目を優先とする。
5. 腰ナンバーの受け取りは原則出場者とするが、低学年及びダブルエントリー等特別な事由がある場合は、代理人を認める。
6. 選手は、その競技をする以外はトラック及びフィールド内に立ち入ることはできない。
7. 決勝の組み合わせ及びレーンは、主催者において公平に抽選し、その結果を選手受付所において知らせる。
8. スターティングブロックの使用は3年生以上で、自力で「着脱」できる者とする。スターティングブロックを使用しない場合は、出発係にその旨を伝え、スターティングブロックを撤去してもらうこと。
9. 100m、80mH、リレーのスタートは、クラウチングスタートとする。
1～2年60mのスタートは、自由とする。
10. スタートについては、イングリッシュコールとする。
同じ競技者が2回の不正スタートをしたときに、その競技者を失格とする。
11. リレーのオーダーは、その競技召集終了時刻の1時間前までに競技者係に提出すること。
オーダー用紙は、競技者係（選手受付所）に置いてあるので受け取ること。
12. トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順はプログラムに記載されたとおりとする。
13. 80mHは、ハードルの高さ70cm、スタートから第1ハードルまで13m、インターバル7m、最終ハードルからフィニッシュまで11mとする。
14. 800mのスタートは3～4年生はオープン、5～6年生はセパレートスタートとする。
15. フィールドの試技はすべて3回とする。（バスト8は行わない。）ただし、コンバインドの試技は全国大会同様2回とする。
16. 走幅跳で砂場に入らない跳躍は計測しない。
17. 走高跳（はさみ跳び）でのマットへの着地は、必ず足裏からとし、背・腰からの着地は無効試技とする。
18. 走高跳におけるバーの上げ方は、次のとおりとする。（ただし天候その他の事由により変更することもある）
6年生 開始 1m00cm 1m30cmまでは5cm毎 以降3cmずつ
5年生 開始 90cm 1m20cmまでは5cm毎 以降3cmずつ
コンバインドについては5年生と同様とする。
19. 砲丸の重さは、男女共に2.721kgとする。
20. ジャベリックボール投の、助走距離は15m以内とする。回転投げ、羽を持つての投てきは禁止する。
21. 砲丸投とジャベリックボール投の競技では、競技場備え付けのものを使用する。
ただし、朝の練習時には貸し出さないので、各自、用意すること。
22. 競技場はトラック、フィールドともに全天候型ウレタンと舗装のため、スパイクピンは全天候用で、長さは9mm以下を使用すること。
23. 抗議申し立ては、チーム及び学校の責任者が、記録発表後30分以内に行う。
24. 選手は、スポーツマンらしい態度で競技に臨むこと。
25. 表彰状は、決勝種目終了後、チーム及び学校ごとにまとめておくので、8位までの入賞者は、本部席で受け取る事。
26. 全道大会出場（参加）資格については、下記のとおりとする。
※令和6年度の大会で標準記録を突破している場合も出場可能。
4、5、6年生（種目は4年生個人種目は100mのみ、5、6年生は全種目）
個人：本大会でトラックで3位、フィールドで3位まで入賞した者または、標準記録突破者
リレー：本大会で2位まで入賞したチームまたは、標準記録を突破したチーム
※全道大会出場については、個人最大で1人1種目+リレー1種目の出場制限となっています。
全道大会出場を放棄した場合でも繰り上がりで出場権を与えない。